

資料提供

平成 27 年 1 月 16 日

広島高速道路公社

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ
広島県政記者クラブ
広島市政記者クラブ

問い合わせ先

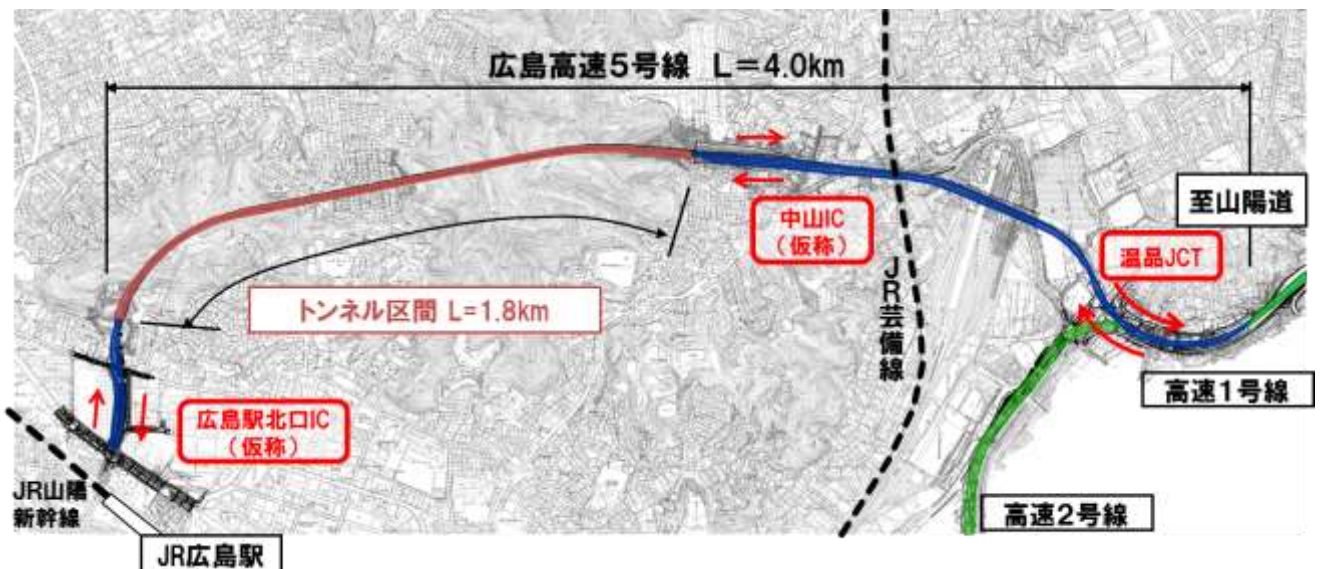
建設部建設課長 京久野（5号線事業）
企画調査部技術管理課長 三上（トンネル技術検討委員会）
広島市東区温品一丁目 8-23
TEL 082-508-6855 FAX 082-508-6856

広島高速 5 号線事業について

1 広島高速 5 号線の概要

広島高速 5 号線は、広島高速 1 号線を介して山陽自動車道と直結し、広島駅周辺市街地と広島空港との間の高速性・定時性を確保するとともに、広島市北東部地区の交通渋滞の緩和を図る路線です。

路線名	広島高速 5 号線（東部線）
区間	広島市東区温品町～二葉の里三丁目
道路規格	本線部：第 2 種第 2 級（設計速度 60km/h） ランプ：C 規格（設計速度 40km/h）
車線数	本線部：暫定 2 車線（対面通行） ランプ：1 方向 1 車線



2 広島高速5号線の整備状況

現在、温品地区では高架橋の下部工事及び上部工事、二葉の里地区では高架橋の下部工事を発注し、それぞれ工事に着手しています。



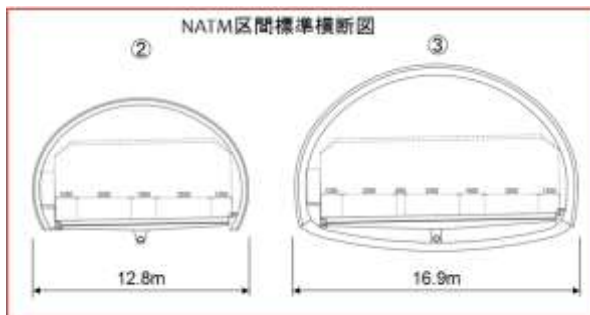
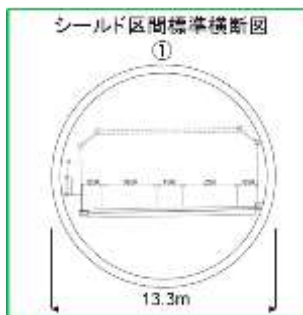
温品地区 (H27. 1. 5 現在)



二葉の里地区 (H27. 1. 9 現在)

3 広島高速5号線トンネルの概要

当該トンネルは、「広島高速5号線トンネル安全検討委員会」の報告を踏まえ、住民の皆様への安心・安全の確保を最優先課題として次のとおり計画を行いました。



地区名	採用工法
二葉の里 牛田	シールド工法
	特徴 地表面沈下抑制効果に最も優れる
中山	NATM工法
	特徴 断面変化への追従性、施工性に優れる

4 地域住民の皆様の「安全確保」と「安心の構築」

安全確保の施策	シールド工法の採用	<p>○トンネル安全検討委員会で検討された工法の内、最も地表面沈下の抑制に優れた工法を採用します</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【シールド工法の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も地表面沈下の抑制に優れる ・地下水位の低下を防止できる ・軟弱地盤から岩盤まで対応が可能 ・鉄道等重要構造物直下の工事实績が豊富 ・短期間での施工が可能 </div>
	施工管理による安全確保	<p>○工事中の沈下量の管理を適切に行います</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【牛田地区】</p> <p>沈下量：一次管理値 1.3mm、二次管理値 2.4mm</p> </div> <p>○工事中の騒音・振動の管理を適切に行います</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【牛田地区】</p> <p>騒音：一次管理値 50dB、二次管理値 55dB</p> <p>振動：一次管理値 60dB、二次管理値 65dB</p> </div> <p>○工事中の水位観測を行います</p>
安心の施策	相談窓口の設置	○牛田地区に現場ステーションを設置し、住民の皆様様の御要望、御相談への対応を行います
	情報公開 (工事の進捗、地表面沈下量 や騒音・振動の計測結果)	<p>○リアルタイムで情報公開を行います (現場ステーション)</p> <p>○定期的な情報公開を行います (回覧、現場見学会、ホームページ)</p>
	チェック体制の強化	<p>○計測管理は専門コンサルタントに委託し、チェック体制の強化を行います (施工業者が行う計測管理とのダブルチェック)</p> <p>○県市によるチェック体制の強化を行います</p> <p>○専門家によるチェック体制の強化を行います</p>
	補償の対応	<p>○万が一に備え、次のとおり実施します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■家屋等の事前調査、事後調査、沈下計測を広範囲で行います ■予め、損失補償基準や対応内容について分かり易い説明を行います

5 今後の予定

平成27年1月10日～	説明会【安全確保と安心の構築について】 ※地域住民に対し丁寧な説明に取り組む
平成27年1月下旬～	説明会【用地補償について（権利者を対象）】
平成27年2月～	用地の境界を測量及び地権者と用地交渉
平成27～28年度	シールドマシン製作
平成28年度～	トンネル掘削工事

6 広島高速5号線トンネル技術検討委員会の設置

シールドトンネル工事は、最も重要な工事の一つと認識しており、入札参加を希望する事業者の施工方法等が公社の要求条件を満足できるものかをしっかりと見極める必要があることから、学識経験者等からなる「広島高速5号線トンネル技術検討委員会」を設置し、専門的な見地からの意見を聴取することにしました。現在、この委員会の開催に向けて準備を進めているところです。